

# 第2期北海道ケアラー支援推進計画 [素案]

## に対する意見募集の結果（子どもの意見）

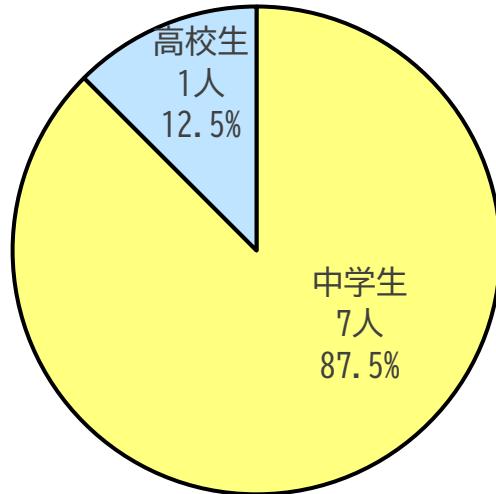
令和8年 月 日  
月 にち

実施期間	令和7年12月8日から令和8年1月7日				
回答者数	8人	意見数 (選択式)	8件	意見数 (自由記述)	3件

### 1 回答者の年代

【質問】あなたの年代を教えてください。

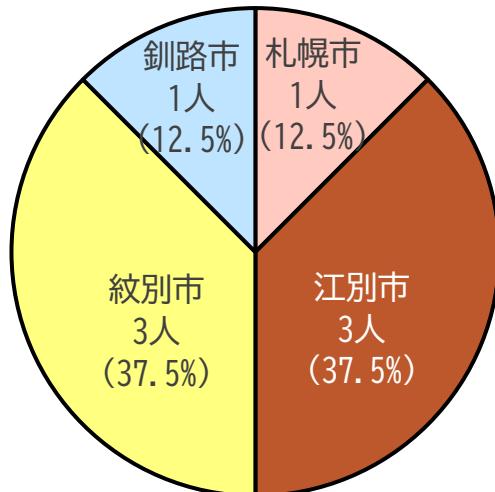
年代	人数	割合
小学生	0人	—
中学生	7人	87.5%
高校生	1人	12.5%
合計	8人	



## 2 回答者の市町村

【質問】あなたの住んでいる市町村を教えてください。

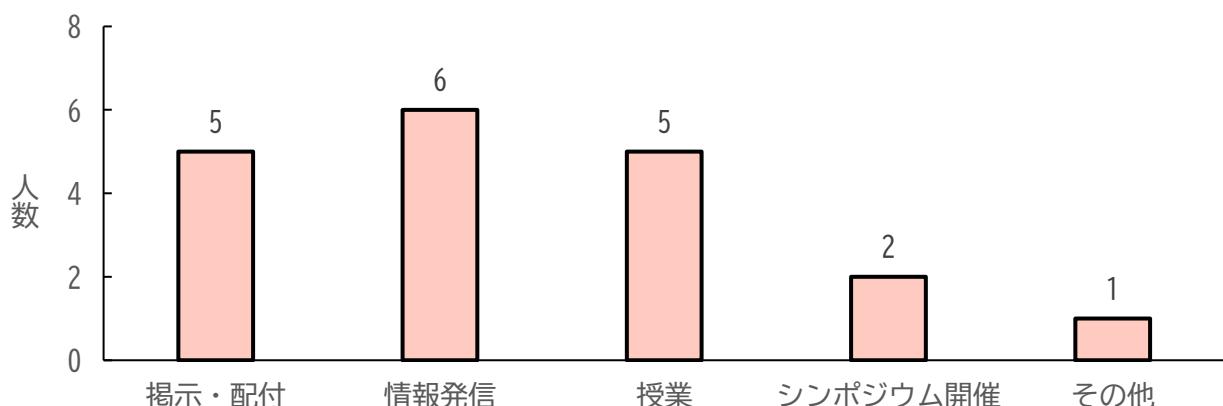
年代	札幌市	江別市	紋別市	釧路市
小学生	0人	0人	0人	0人
中学生	1人	3人	3人	0人
高校生	0人	0人	0人	1人
合計	1人	3人	3人	1人
(割合)	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%



### 3 第2期北海道ケアラー支援推進計画 [素案]について

【質問1】ケアラー・ヤングケアラーについて知るために何が必要だと思いますか？（5個まで選択可能）

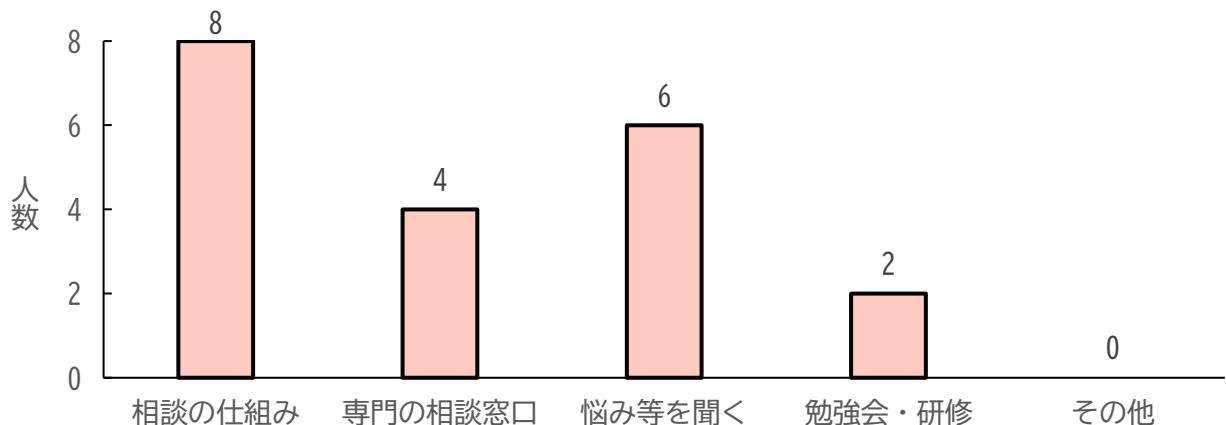
年代	ポスターやチラシなどの掲示・配付	ホームページやSNSでの情報発信	学校での授業	シンポジウム(討論会)の開催	その他
小学生	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	4人	5人	4人	2人	1人
高校生	1人	1人	1人	0人	0人
合計	5人	6人	5人	2人	1人



みんなの意見からわかったこと	ホームページやSNSでの情報発信が必要と考える人が多いことがわかりました。また、ポスターやチラシなどの掲示・配付と学校での授業が必要と考える人も多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考に、次の計画でも引き続きケアラー・ヤングケアラーを知ってもらうための取組をすすめていきます。

【質問2】ケアラー・ヤングケアラーに早く気づくためには、何が必要  
だと思いますか？（5個まで選択可能）

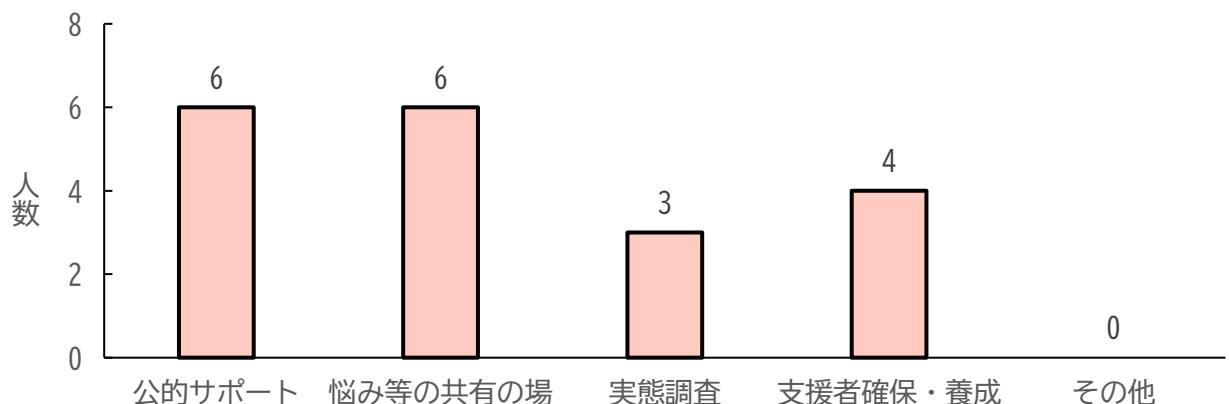
年代	まわりの大人に相談できる仕組み	ケアラー・ヤングケアラーアに関する専門の相談窓口	家族のお世話をしている子から普段の生活や悩みについて聞く	ケアラー・ヤングケアラーアを支える人向けの勉強会や研修	その他
小学生	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	7人	3人	5人	1人	0人
高校生	1人	1人	1人	1人	0人
合計	8人	4人	6人	2人	0人



みんなの意見 からわかったこと	まわりの大人に相談できる仕組みが必要と考える人が多いことがわかりました。
意見の反映	みんなからの意見を参考に、次の計画でも引き続きケアラー・ヤングケアラーに早く気づいてあげて、相談しやすい人や場所をつくる取組を進めていきます。

しつもん  
【質問3】ケアラー・ヤングケアラーをみんなで支えるためには、何が  
必要だと思いますか？（5個まで選択可能）

年代	家事や学習の（公的）サポート	ケアラー・ヤングケアラー同士で悩みや経験を共有できる場	ケアラー・ヤングケアラーの実態を知るための調査	各地域での支援者やサポーターの確保・養成	その他
小学生	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	5人	5人	2人	3人	0人
高校生	1人	1人	1人	1人	0人
合計	6人	6人	3人	4人	0人



みんなの意見からわかったこと	家事や学習の（公的）サポートとケアラー・ヤングケアラー同士で悩みや経験を共有できる場が必要と考える人が多いことがわかりました。
意見の反映	みんなからの意見を参考に、次の計画でも引き続きケアラー・ヤングケアラーを支えてあげられる地域をつくっていく取組を進めていきます。

しつもん じぶん おとな かぞく かいご せわ  
**【質問4】** 自分やまわりの大人が家族の介護やお世話をすることについて、  
 あなたが思うことや、考えることを教えてください。

意見の内容 いけん ないよう	意見に対する たい 北海道の考え方 ほっかいどう かんが かた
<p>がんば 頑張ってほしいと思っている。          おも          (中学生・紋別市)          ちゅうがくせい もんべつし</p>	<p>けいかく 北海道では、次の計画でも          ひ つづ          引き続きケアラー・ヤングケア          ラーを支援する取り組みをすす          めて          いきます。</p>
<p>わたくし          ヤングケアラーやケアラーのことを          私たちが「知る」ためには、ポスター          やチラシの配布・掲示をしても、何も          しないよりはよいけど、あまり立ち          ど          止まってみたり、チラシをじっくり          み          見たりする人はほんとにわずかだと          おも          思う。私もそのひとりで学校からの          はいふぶつ          配布物をあまりじっくり読んだりする          ことはしないので「ヤングケアラーや          ケアラーのことを知ってもらう」と          いう観点で見たらポスターやチラシは          む          向いていないと思うから、小中学生          に知ってもらうためには授業が一番          だと思うしそうしたらやっぱり聞こう          とする人も増えて、効果的だと思う。            ヤングケアラーが「相談をしやすく          する」という観点で見るとチラシを          がっこう          学校などで配るとヤングケアラーの人          め          は目に留まる機会が増えると思う。</p>	<p>しき          相談先などを知ってもらう          ほっかいどう          ために、北海道ではポスターや          リーフレットの掲示・配付など          おこな          を行っています。            そのほか、ケアラーやヤング          ケアラーのことを知ってもらう          ために、学校への出前講座の          とりくみ          取組をさらに広げていきます。            また、まわりの大人に相談を          しやすくする仕組みや環境を          ととの          整えること、ケアラー・ヤング          ケアラー同士で悩みを共有          できる場をつくっていきます。</p>

ヤングケアラーの早期発見について  
は、まわりの大人に相談しやすくする  
仕組み、環境を整えることがよいと  
思う。ヤングケアラーは自覚がない  
場合もあるようなので、授業をすること  
で、「そういえば、私あてはまる」と  
思えるようになると相談しやすくなる  
と思う。

みんなでケアラーやヤングケアラー  
を支えるためには同じケアラー同士で  
の悩みの共有が一番よいと思う。外部  
から何かを言われても結局は同じ  
境遇の人で相談したほうがちゃんと  
した解決策が見えたりするし、気持ち  
が楽になりやすいと思う。

(中学生・江別市)

ポスターの掲示や配布をすることで  
ケアラーの方が頼る場所があることを  
知ることができたり普段かわらない  
人もケアラーの存在を知ることができ  
ると思う。

また、学校の授業に取り入れること  
でケアラーのことや自分が何ができる  
か知ることができると考える。

(中学生・江別市)

北海道では、普及啓発の方法  
の一つとして、ポスターやリーフレットの掲示・配付などを  
行っています。

また、ケアラーやヤングケア  
ラーのことについて知って  
もらうために、学校への出前  
講座をさらに拡げていきます。